

(工学研究科)

公益財団法人ヒロセ財団

令和6年度外国人留学生の募集

2024. 2. 13

1. 応募資格・・・以下のすべてに該当すること。

- 1) 東アジア、東南アジア、南西アジア地域の国籍を有する私費外国人留学生
(在留資格：留学)
- 2) 2024年4月1日現在30歳以下で、学部または大学院正規課程に在籍し、
課程の残期間が1年以上ある者
- 3) 日本語能力試験N1合格者
- 4) 年4回(予定)開催される奨学生交流会に出席できる者
- 5) 異文化理解(特に日本文化理解)に意欲があり、日本人学生との交流、地域社会での
国際交流等に積極的な者
- 6) 他の奨学金を受けていない者

Those who have JLPT N1 are eligible to apply.

2. 支給金額・期間

学部生 月額18万円 / 大学院生 月額20万円

給付期間 2024年4月～2025年3月(1年間)

※ただし、特に成績優秀な者及び本財団の交流事業を理解する者については、
毎年度末に審査の上、在籍する学部又は研究科の標準年限まで継続可

3. 応募書類

- 1) 奨学金申請書(所定様式、A4用紙1枚、日本語自筆)
※「大学の担当部課」欄は記入不要
- 2) 履歴書(所定様式、A4用紙1枚、日本語自筆)
- 3) 身上書(所定様式、A4用紙1枚、日本語自筆)
※日本での連絡先は、留学生の知人はなるべく避けること。
- 4) 身上書の別添え記入用紙(所定様式、A4用紙1枚、日本語自筆)
- 5) 在学証明書(大学院入学予定者は、合格通知書の写し)
- 6) 在留カードの写し(両面)
- 7) 成績証明書(現課程及び前課程のもの。学部生は現課程のみ)
※別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入
- 8) 推薦書(任意様式、A4用紙1枚、指導教員により作成、**厳封**すること)
※工学部・工学研究科からの推薦が決まったら提出すること。
- 9) 私費外国人留学生身上調書(所定様式)
- 10) 家計状況申告書(所定様式)
※9) 10) は23年10月以降に他の奨学金申請で提出したものは不要。

4. 推薦人数 工学部・工学研究科より2名(1ヶ国につき1名)

5. 提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3階)

6. 締切日 令和6年2月19日(月)

※総長特別奨学生でも応募は可能ですが、授業料免除申請は不可となります。

※令和6年度に他奨学金に受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者は推薦対象外です。

令和6年度（2024年度）
公益財団法人ヒロセ財団 外国人留学生募集要項
（一般奨学金）

1. 応募資格

- （1）日本以外の国籍を有し、インド以東のアジア諸国から来日している私費留学生
- （2）大学の学部又は大学院に在学する者で、令和6年4月1日現在で30歳以下の者
- （3）修学のために経済的援助を必要とする者で、他の奨学金を受けていない者
- （4）学業、人物ともに優秀であり、健康である者
- （5）日本語検定試験 N1 合格者
- （6）国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者
- （7）奨学生交流会（年4回を予定。うち1回は2泊3日の研修旅行）、芸術文化関係交流事業に出席できる者

注）なお、次の者は除外します。

- ・日本での留学中、更に他の国への留学（交換留学、短期又は中長期留学を問わず）を予定する者
- ・将来、日本学術振興会の特別研究員事業、次世代研究者挑戦的研究プログラム等の各種支援制度、並びに他の奨学金への応募を希望する者

2. 新規募集人員 30名程度（財団の年間奨学生 約100名）

3. 対象学年

学部学生：令和6年（2024年）4月に正規生として在学する者

大学院学生：令和6年（2024年）4月に正規生として在学する者

4. 奨学金

学部学生 月額18万円

大学院生 月額20万円

ただし、学部学生、大学院学生ともに、所定の最小限の修業年限内の者（いわゆる留年なし）を原則とする。

5. 奨学金支給期間

令和6年（2024年）4月から1年間。ただし、特に成績優秀な者及び当財団の交流事業を理解する者については、毎年度末に審査の上、所属する学部又は研究科の標準年限まで継続可とする。

6. 応募方法

大学の推薦により、申請を受け付ける。

7. 応募の手続き

次の書類を揃え、指定する日までに、財団事務局に提出する。記載漏れ、乱雑な記入の書類は受け付けない。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
 - (2) 履歴書（所定の様式）
 - (3) 身上書（所定の様式）
 - (4) 在学証明書：大学院各課程入学予定者は、合格通知書（入学許可書）の写し
 - (5) 在留カードの写し（住所、氏名、在留資格の確認のため）
 - (6) 成績証明書：現課程のもの。入手不可能の場合は、前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等。
 - (7) 推薦理由書（学部長又は指導教員による封緘書）：A4用紙で1頁以内
- } 自筆による（乱雑な記載は受け付けません）

8. 選考及び決定

推薦された者について、本財団に設置する選考委員会の選考を経て、理事長に報告し、理事会で奨学生を決定する。一大学において、「採用者なし」もあり得る。

なお、選考に当たっては、書類審査の他、面接を行うことがある。

採用決定者については、5月中に大学及び本人に通知する。

9. 奨学金の支給の停止又は打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の支給を停止又は打ち切ることがある。

- (1) 病気等により又は理由なく長期（1ヵ月以上）欠席したとき
- (2) 休学又は外国へ留学（短期、交換留学を含む）したとき
- (3) 在学する大学における学籍を失ったとき
- (4) 学則により処分を受けたとき
- (5) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- (6) 事前の連絡なく奨学生交流会等諸行事を欠席したとき
- (7) 事前の相談なく年間10日間以上帰国又は日本を離れたとき
- (8) 応募書類及び報告書類の記載事項に重大な虚偽が発見されたとき
- (9) その他留学生としての資格を失ったとき
- (10) 本財団若しくは本財団の支援企業の名誉を傷つけ又は迷惑をかけたとき

10. 報告書の提出

奨学生は、理事長から要求があったときは、学習の状況（学業成績を含む。）及び生活状況について報告書を提出しなければならない。

11. 注意事項

この要項に記載してあることについて不明の点があれば、大学の事務局に照会すること。

履 歴 書

(2024年 月 日 現在)

(フリガナ)

氏 名 _____

来日年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____

学 歴 等 (高等学校入学以降、現在に至るまで、年代順に記入のこと)

入学・卒業年月	学 校 名	専攻学科	正規年数
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
日本語学習歴	学校名	所在地	学習期間
			年 月～ 年 月
日本語能力試験	受験年月	テスト名	受験地
	年 月		受験級
	年 月		合否及び取得点数
	年 月		合 ・ 否 /
兵 役	過 去	年 月 日～	年 月 日
	将来の予定	年 月 日～	年 月 日 <input type="checkbox"/> 不明
賞 罰 <small>(学校等での表彰を含む。)</small>			

職 歴 (アルバイト除く)

勤務先名(所在地)	職務内容(役職名)	勤 務 期 間
()		年 月～ 年 月
()		年 月～ 年 月

身 上 書

(2024年 月 日現在)

(フリガナ)

氏 名 _____

あなたの本国の住所 _____

電話番号 _____

家 族 状 況

家 族 氏 名	続 柄	年 齢	現 住 所	職 業 ・ 勤 務 先 又 は 学 校 名
	父			
	母			

経 済 状 況

収入源 (2023年度)	平均収入月額	摘 要		
(1) 本国等からの仕送り	円	仕送り者名 :		
(2) アルバイト	円	職務内容 :		
(3) 奨学金	円	詳細は、下の受給歴に記載のこと。		
(4) 貯金の取崩し	円			
(5) 配偶者、その他からの収入	円	内容 :		
(1)～(5) の合計	円			
奨学金受給歴	奨学金月額	受給期間		奨学金の名称
	円	年 月	～ 年 月	
	円	年 月	～ 年 月	
	円	年 月	～ 年 月	
現在受給中又は応募中のもの	円	年 月	～ 年 月	
住居費月額(食費は含めず)	円	同居者の有無 : <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
住居区分	<input type="checkbox"/> 国際交流会館 <input type="checkbox"/> 大学寮 <input type="checkbox"/> マンション等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
授業料年額 (2023年度実績)	円	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 一部免除 <input type="checkbox"/> 免除なし		

自分の国へ一時帰国するなど、長期不在時の日本での連絡先

(フリガナ)			
氏名	申請者との関係 ()		
現住所	〒 ()	電話 ()	-

日本留学の目的	(別添の用紙に記入すること)
将来希望する進路 (又は卒業後の予定)	(別添の用紙に記入すること)

※住居費は、同居人が居る場合は自分が負担した金額を記載のこと

※授業料は、実際に負担した金額を記載のこと

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は黒の万年筆またはボールペンで書くこと。

申請書について

- (1) e-メールアドレスは、日常的に利用するアドレスを記載すること。
- (2) 「在学大学名等」は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名を記入すること。
大学院の場合は、研究科名・専攻名を記入し、該当する課程にチェック印をつけること。
- (3) 学年は、令和6年（2024年）4月1日現在によって記入すること。

「履歴書」について

- (1) 学歴については、卒業した学校名を記入すること。（複数の場合はすべて記入）
- (2) 職歴については、本国および日本における職歴を記入のこと。アルバイトは除く。

「身上書」について

- (1) 家族氏名欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹についても記入すること。
- (2) 職業・勤務先欄は、会社名等を具体的に、役職等も記入すること。
父母死亡の場合は「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。
在学中の者は学校名を記入すること。
- (3) 経済状況は、現在の収入源及び住居費、授業料が分かるように記入すること。
- (4) 配偶者が留学生で日本政府奨学金、その他の奨学金を受けているときは、「経済状況」の「(5) 配偶者、その他からの収入」欄に記入すること。
- (5) 「日本留学の目的」欄、および「将来希望する進路（又は、卒業後の予定）」は、別紙用紙に記入すること（各200字以内）。

*2023年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字)				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所)		

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2023年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2022年4月から2023年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2022年10月入学の場合は2022年10月から2023年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例:2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

年	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2023	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2022	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。